

広島大学学術情報リポジトリ
Hiroshima University Institutional Repository

Title	フランス語に於ける否定表現について 〈修士論文及び卒論要旨〉
Author(s)	村上, 勝也
Citation	広大言語 , 8 : 59 - 60
Issue Date	1968-12-10
DOI	
Self DOI	
URL	https://ir.lib.hiroshima-u.ac.jp/00046301
Right	
Relation	



- 「近代文学鑑賞講座第十四卷“堀辰雄”」中村真一郎編 角川書店
- 「現代作家論全集九“堀辰雄”」佐々木甚一・谷田昌平 五月書房
- 「堀辰雄」（「現代のエスプリ」）佐々木甚一編 至文堂
- 「堀辰雄読本」（“文芸”臨時増刊）巖谷大四編 河出書房
- 「堀辰雄全集」全十巻 角川書店
- 「風立ちぬ・美しい村」新潮社
- 「幼年時代・晩夏」新潮社
- 「菜穂子・楡の家」新潮社
- 「堀辰雄 妻への手紙」堀多恵子編 新潮社
- 「花あしび」青磁社
- 「風立ちぬ・聖家族」旺文社
- 「堀辰雄」（「日本の文学」42）中央公論社
- 「志賀直哉」（「日本の文学」21・22）中央公論社
- 「谷崎潤一郎」（「日本の文学」23・24・25）中央公論社
- 「川端康成」（「日本の文学」38）中央公論社
- 「佐藤春夫」（「日本の文学」31）中央公論社

文責（屋敷睦美）

フランス語に於ける否定表現について

村上勝也

現代フランス語に於ける最も *ordinaire* な否定形式は $\langle ne \dots pas \rangle$ である。この「二辞頃」による否定表現形式は、印欧語族に属する他の諸言語と比較してみるとき直ちにその特異性に気付く、しかしながら、これと同時に、「*ne* 単独否定」、「*pas* 単独否定」も存在し、更に、意味的明確性が求められる時には、他の「半否定辞」とも容易に $\langle ne \rangle$ は結び付き、その否定辞としての機能を果し得る。これら諸々の「分離」と「結合」の *mecanisme* を、第一章では主として歴史的に、第二章では現代フランス語の否定表現形式を *discordantiel* と *forclusive* の立場から分析検討することによって、この言語に独特の否定表現の *nuance* を明らかにし、最終的には「虚辞否定の *ne*」の考察に及ぶ。

主要参考文献

- SYSTEME GRAMMATICAL DE LA LANGUE FRANÇAISE (G. Gougenheim)
 - PRÉCIS DE GRAMMAIRE HISTORIQUE DE LA LANGUE FRANÇAISE
(F. Brunot & C. Bruneau)
 - ÉLÉMENTS DE SYNTAXE STRUCTURALE (Jean Fourquet)
 - TROIS ASPECTS DU FRANÇAIS CONTEMPORAIN (A. Doppagne)
 - HISTORICAL FRENCH GRAMMAR (Darmesteter)
 - NOTRE LANGUE (J. Marouzeau)
 - LE GÉNIE DE LA LANGUE FRANÇAISE (A. Dauzat)
 - NEGATION IN ENGLISH AND OTHER LANGUAGES (O. Jespersen)
 - A GRAMMAR OF PRESENT — DAY FRENCH
 - 文法の原理 (Jespersen —— 半田一郎訳)
 - フランス語学新考 (中平 解)
- (文責 本人)

片言のソ連とびあるき

切 明 慧

今夏、高校社会科教育研究会主催のソ連視察旅行に合流、8月3日から8月23日まで、約3週間、ソ連各地を訪れました。

ロシア語学習については、辞書もなかった一昔前とくらべると、レコード、録音テープといった便利なものができてはいますが、相対的には、まだまだ陥没しており、教育テレビ語学講座の恩恵も受けていません。そこで思い切って会話のイロハから実習するつもりでソ連にでかけました。以下片言のロシア語を使っての会話を思い出し、ソ連各地のうちモスクワまでの旅を訪問地順に列挙してみます。

I ソ連船ハバロフスク号で

横浜港大棧橋を午前11時に出港、早速船員や船室係、売店の売子、掃除婦にいたるまでまず挨拶から会話の練習開始。文化係と称する映写技師に感想を求められ、動物の映画(野良犬の方が飼犬よりも自由で幸せだといった単純明快な暗示もの)がよかったという素直によるこぶ。夜になると船尾のバーで生れてはじめてコニャックを飲み、舌鼓をうちながら「コニャック一杯」「タバコをひとつ」などを練習。その結果、なんでも「ください」という時は give me